

医療倫理小委員会で承認された治療法

当院の医療倫理小委員会にて、下記の医療が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることは一切ございません。

この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

実施内容	急性心膜炎に対するイブプロフェンの大量投与
対象者	急性心膜炎の症例
承認日	2024年3月6日
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】 急性心膜炎に対する治療法は日本のガイドラインでは規定されてなく、ESC (the European Society of Cardiology) のガイドラインを用いて治療を行います。そこでは、初期治療としてイブプロフェン 1800mg/日またはアスピリン 2250-3000mg/日の大量投与が推奨されております。抗血小板作用を目的にアスピリンを内服している場合、容量を増やすことによって抗血小板作用が失われてしまうため、イブプロフェンを用いて治療を行います。</p> <p>【想定される不利益と対策】 容量が多いため NSAIDs の副作用が出現する場合があります。上部消化管症状の有無や腎機能障害に注意して、異常が確認された場合は速やかに減量または中止を検討します。</p>
お問い合わせ先	順天堂大学医学部附属順天堂医院 薬剤部 医薬品情報室 大代表 03-3813-3111